九州地方へTEC-FORCE派遣

~令和2年7月豪雨~





令和2年7月

国土交通省 中部地方整備局

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)の概要

TEC-FORCEとは

- 〇大規模な自然災害等に際して、被災自治体に対し、<u>被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の</u> 早期復旧等に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため、平成20年4月に創設
- 〇国土交通省災害対策本部長の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動
- 〇中部地方整備局の職員の内1,523名が隊員として任命(令和2年4月現在)

令和2年7月豪雨(九州地方)に係る被害の概要

令和2年7月豪雨に伴う大雨(九州地方)と被害の概要

7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進んだ。このため、3日夜から4日朝にかけ、熊本県と鹿児島県では記録的な大雨となった。4日4時50分には熊本県(八代市、天草市、水俣市、人吉市等の16市町村)および鹿児島県(出水市、阿久根市等の4市町)に大雨特別警報が発表された。

(福岡管区気象台資料抜粋)

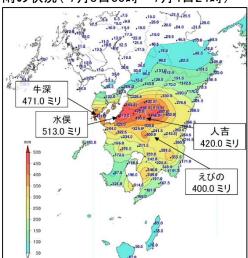
アメダス降水量の時系列図 (福岡管区気象台情報)

水俣観測所7月3日00時~7月4日24時)

水俣の雨の状況 1時間降水量 様雄降水量 550 500 450 400 350 塩 200 塩 200 塩 150 100 50

▶アメダス降水量分布図 (福岡管区気象台情報)

雨の状況(7月3日00時~7月4日24時)



▶九州地方の被害情報(消防庁情報·九州地方整備局情報)

■人的被害
死者 77名

■物的(住家)被害
全壊 1,593棟
半壊 4,215棟
床上浸水 1,638棟
床下浸水 3,559棟
(消防庁情報:11月13日 14:00 現在)





TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動

TEC-FORCE派遣

令和2年7月豪雨による九州地方で発生した甚大な被害に対し、中部地方整備局はTEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) を派遣した。

はつきむら さがらむら ゆのまえまち 熊本県において、五木村、相良村、湯前町の河川、道路の被災状況調査を実施し、調査結果を関係機関に報告した。 なるめし また、福岡県(久留米市、みやま市、八女市)及び熊本県(人吉市)に排水ポンプ車、照明車を派遣し、昼夜問わず排水作業を実施し、早期の浸水解消に努めた。

▶中部地方整備局TEC-FORCE派遣状況

総括班

期間:7月5日(日)→8月2日(日)

職員:15名、

派遣箇所:九州地整(福岡市)

被災状況調査班

期間:7月7日(火)→8月2日(日)

職員:44名

班構成:河川調査班、砂防調査班、道路調査班

派遣箇所:熊本県五木村、相良村、湯前町

応急対策班(排水活動)

期間:7月8日(水)→7月21日(火)

職員:12名

協力業者:16社、オペレータ等78名 派遣車両:排水ポンプ車5台、照明車3台 派遣箇所:福岡県久留米市、みやま市、八女市

熊本県人吉市

※7月20日~9月4日の間は排水ポンプ車3台、 照明車3台を九州地整へ管理替え



TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動

現地での調査にあたっては、自治体職員等から、意見・要望等を聞き取りつつ作業を行った。







道路崩落箇所の被災状況調査

砂防施設の被災状況調査

地元の方からの聞き取り

24時間体制で排水作業を行い早期の浸水解消に努めた。



筑後川(久留米市)での夜間排水作業



河岸侵食箇所の被災状況調査

調査結果の報告

中部地方整備局のTEC-FORCEは、熊本県五木村をはじめ関係機関に被災状況調査の結果を報告した。







熊本県相良村長

熊本県湯前町長

熊本県五木村長



国土交通省

国土交通省 中部地方整備局 災害対策マネジメント室 〒460-8514

名古屋市中区三の丸2-5-1

名古屋合同庁舎2号館 Tel:052-685-0533

URL:http://www.cbr.mlit.go.jp

令和2年11月13日作成